

# 期待高まる 愛・地球博



東側の高台から長久手会場を望む。中央に見えるのが空中回廊『グローバル・ループ』。奥に建ち並ぶのは民間企業のパビリオン群

## 全ぼうを見せ始めた万博会場

本紙記者がスケールの大きさを体感

来年3月25日の開幕まであと半年。今回、急ピッチで建設が進められる万博会場の現地取材を行った。〓 関連面

『愛・地球博』は、平成17年3月25日から9月25日までの185日間開催される。テーマである「自然の叡智」とは、「自然が持っている素晴らしい仕組み、生命の力を意味し、われわれ人類が抱えている環境問題・食糧問題などについて、世界中の人々が自然から学んだことを持ち寄って、万博を機会と一緒に考えようという願いが込められている。

会場となるのは、名古屋市の東部にある丘陵地帯。メイン会場の長久手会場は158haの広さを誇り、参加国120カ国以上の展示空間や公共・民間パビリオンが立ち並ぶ。少し離れた瀬戸会場とは Gondola で結ばれ、万博会場や自然を眺めながら行き来できる仕組みだ。

今回の現地取材して感じたのは、会場レイアウトのダイナミックさだった。「自然との共生」をキーワードに、地形を生かした会場づくりが進められているため、起伏に富んだ面白い風景となっている。

中でも注目目は、空中回廊『グローバル・ループ』だろう。一周2.6kmの回廊は、参加国や国際機関が出席するエリア『グローバル・コモン』を網羅している。つまり、回廊を一周することにより世界旅行が体験できるのだ。

身体に負担をかけず場内を移動する手段としては、新交通システム『IMTS』が用意される。未来的な型をしたこのバスは、無人運転・隊列走行が可能。もちろん、クリーンエンジン搭載だ。

会場周辺には駐車場がないため、『愛・地球博』へのアクセスは公共交通機関をお勧めする。そこで、ぜひ利用したいのが『リニモ』だ。日本初の実用化となる磁気浮上式のリニアモーターカーで、騒音・振動が小さく快適なため、環境にやさしい交通手段といえる。地下鉄東山線『藤が丘

早く乗りたい！  
リニアモーターカー『リニモ』

会場周辺には駐車場がないため、『愛・地球博』へのアクセスは公共交通機関をお勧めする。そこで、ぜひ利用したいのが『リニモ』だ。日本初の実用化となる磁気浮上式のリニアモーターカーで、騒音・振動が小さく快適なため、環境にやさしい交通手段といえる。地下鉄東山線『藤が丘

長久手会場の完成予想模型。『グローバル・ループ』や会場内を縦断する Gondola など、立体的な空間となっている



出番を待つリニモ  
名古屋駅などからシャトルバスも運行される予定



# 愛地球博

発行：広報たはら



今回の紙面

開幕まで半年：着々と進む準備  
田原市も『愛・地球博』に参加  
主なイベントスケジュールを発表

『愛・地球博』に関するお問い合わせは...  
企画課  
☎23局3507